

浮きまくらぎ自動補正装置

[レベルキーパー]

軌道技術研究部

浮きまくらぎを効果的に防止します

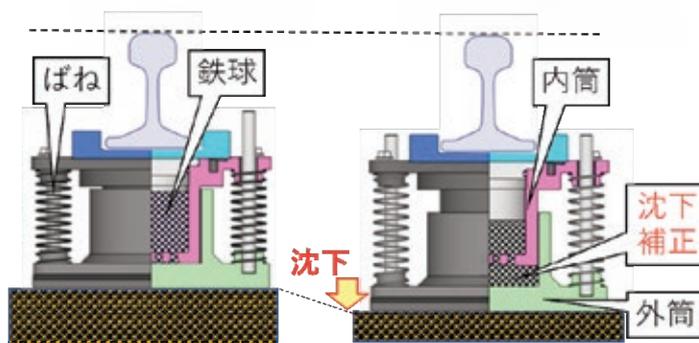
軌道および構造物の境界部では、列車の繰返し荷重により局所的に軌道の沈下量の相対差が大きくなるため、まくらぎ下に隙間が生じて列車荷重を支持しない「浮きまくらぎ」状態となることで保守上の弱点箇所となります。そこで、既設のまくらぎ間に設置するだけで浮きまくらぎの発生を抑制できるレベルキーパーを開発しました

【特徴】

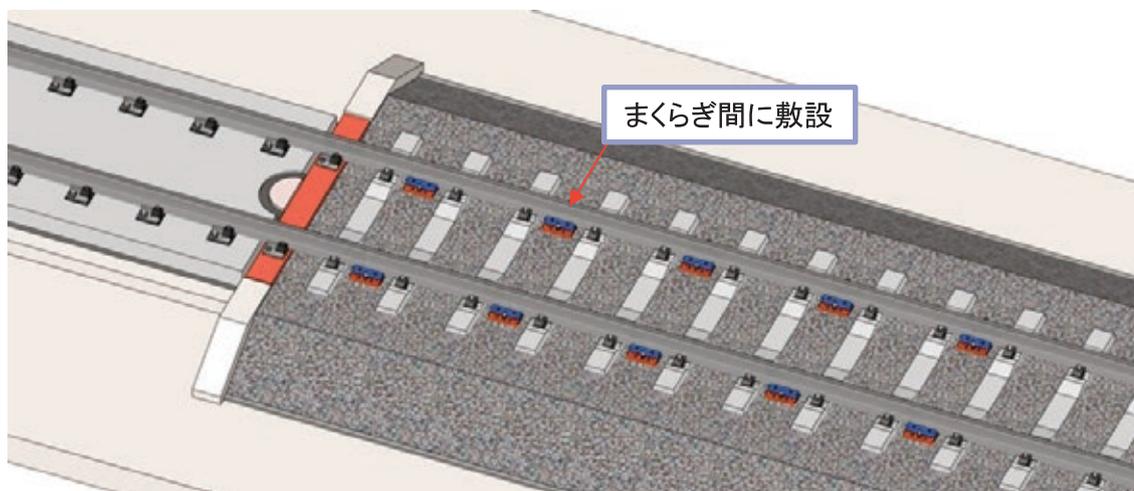
- バラストの沈下に伴い、ばねの力でレベルキーパーが上下方向に伸び、内部に生じた隙間を内筒に内蔵された鉄球が埋めることで列車荷重を支持
- 既設まくらぎを撤去せずに既設のまくらぎ間に簡易に設置することが可能
- 線路下横断排水溝の前後、小橋りょうとの境界部、レール継目部、踏切との境界部等に生じる局所的な軌道変位の発生を抑制し、浮きまくらぎの発生を防止



装置外観



動作原理



敷設イメージ（バラストスラブ軌道の場合）